



四 気 折 々

四気＝川越中校訓「やる気 ほん気 こん気 げん気」

川越町立川越中学校
学校だより 第34号
平成29年1月31日

睦月から如月へ（※1）

3学期の始業式から早3週間が過ぎ去り、気づけば如月を迎えます。「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」と誰が言い出したことかは知れませんが、3学期はスピードアップしたかのように毎日が過ぎ去り、その表現通りとうなずくのも私だけではないはずです。川中生のみなさんには、その速いスピードに惑わされず、心を整え、動きを整え、なすべきことをしっかり見据え、着々と取り組んでいくことをお願いします。

さて、睦月に私立高校等を受検した3年生は、すでに受検結果の通知を受け取った人もいますが、大半の人は、如月に入るや否や、受検結果の通知を受け取ることになります。その通知がすべて合格であることを先生たちは願っていますが…。合格通知を受け取った人には「勝って兜（かぶと）の緒（お）を締めよ」（※2）、残念ながら合格通知を受け取れなかった人には「雨降って地固まる」（※3）という故事ことわざを贈ります。

合格通知を受け取れなかった人は、その時は悔しくて、辛くて、悲しくなることでしょう。特に、学級担任の先生も同じ気持ちでいることでしょう。しかし、大リーガーであるイチローの名言「結果が出ないとき、どういう自分でいられるか。決してあきらめない姿勢が、何かを生み出すきっかけをつくる」のように、たくましく成長してきた川中生だからこそ、悔しさ・辛さ・悲しさを乗り越えられると、先生たちは信じています。それでも、乗り越えられそうにないときは、友達、保護者、先生を頼ってください。誰もがあなたを支え、見守る味方なのですから…。

教職員一同、お子様をバックアップしてまいります。保護者の皆様にも、お子様はまだまだ不安な15の春を過ごすことになりますので、お子様に寄り添い、「ホッ」とできる声掛けをよろしくお願いいたします。

※1 日本では旧暦2月を如月（きさらぎ）と呼び、現在では新暦2月の別名としても用いる。（ウィキペディア フリー百科辞典より）

※2 成功したからといって気をゆるめず、さらに心を引き締めろという戒め。
（故事ことわざ辞典より）

※3 もめごとなど悪いことが起こったあとは、かえって基盤がしっかりしてよい状態になることのたとえ（goo辞書より）

ほっこり

ほかほか。ぬくぬく。心に優しく、温かさが伝わってくる言葉ではないでしょうか。先週、私が「ほっこり」したことを3つ紹介します。

- ・卒業テスト初日。雪降る中、テストを終えた男子生徒が職員室前を下校していくときに、深々と私にあいさつ。私も深々とあいさつ。
- ・26日（木）4限目終了後、私が階段を降りているときに、デリバリー給食のケースを抱え、階段を昇ってきた女子生徒が、ケースを縦にして、通路を空けてくれたこと。
- ・土曜授業を終えて、下校していく生徒を校長室から見送っていると、何人もの生徒が気づき、お辞儀や手を振ってあいさつしてくれたこと。

みなさんからの「ほっこり」で、とても幸せな1週間になりました。

